



元気のヒントここにあり!

03 ニュープラネット

東京・神田で全国うまいものの交流サロンを経営

都会と故郷、人と人が 「食」でつながる

「美味しく食べて東京から故郷おこし」をコンセプトに、
東京・神田で地域活性を応援する飲食店「なみへい」を経営するニュープラネット。
「作る・食べる・交流する」を合言葉に地域の食材で作る郷土料理を提供し、
地域愛を育む地域交流事業を展開する。

関門地域（下関・北九州市）の食材

故郷を救いたい一心で起業

ニュープラネット代表の川野真理子氏が東京・神田に全国うまいものの交流サロン「なみへい」をオープンさせたのは2008年7月のこと。それまでは起業家ネットワークのNPOを主催していた。地方での講演や人材交流活動をしているうちに、地方の惨状を目の当たりにした。

「故郷の青森県の商工会連合会女性部会で、離農して泣く泣く都心に住む長男の家に転居するという女性の話を聞き、憤りを感じた。何とか現金を地方に落とす道はないかと真剣に考えた」という川野氏。その思いが23人の出資者を募り、会社を立ち上げ、地方活性化を目的とした飲食店「なみへい」をスタートさせた。

地方自治体などがPR予算をニュープラネットに支払い、ニュープラネットは「なみへい」でその地域の食材を使ったコース料理や地酒を一般客に有料で提供する。飲食の他、店内で地域の物産品を販売する一方、ネットでも地域情報を発信し、東

京から故郷おこしを支援する。

初心者には難しかった

飲食店経営

飲食店による地方の活性化は、ユニークな発想だったが、川野氏自身は飲食業界のノウハウは全くなく、仕入れた焼酎のお湯割りの作り方もわからなかった。「わからないまま一刻も早く衰退する故郷を救いたい。その一心で始めた。地方でしか手に入らない食材はそれなりの理由があるし、故郷の味を求めて来る顧客の期待は絶対に裏切れない。試行錯誤と苦勞の連続で、もし、飲食業界に詳しくたら手を出さなかっただろう」（川野氏）と創業当時を振り返る。

「軌道に乗ったのは起業から3年目の2011年。しかし、ようやくこれからという時に東日本大震災で大きなダメージを受けた。それでも震災翌年から盛り上げてやってきた。昨年は景気回復基調が始まり、もう少し行かかと思っていたが、結果は厳しかった」と川野氏。とはいえ、ニュープラネットの活動



元気のヒント **ココにアリ!**

食で故郷自慢ができる交流拠点づくり



店内の様子（着席数42席）



なみへいオリジナルわび鍋



料理長の山本誠也氏
「その地域の出身者が食べるので、味は絶対にはずせない。築地でも見たことがない魚をどう美味しく調理するか、わからないときは地元料理人に聞く」



ニュープラネット代表の川野真理子氏
「東京にいる私が便利でおいしい生活ができるのは地域の人の頑張りのおかげ。地域に恩返しする気持ちで、東京から故郷おしを實現したい」

2店舗体制で地域を応援

は少しずつ認められて、日本経営士会の2015ビジネス・イノベーション・アワードの特別賞を受賞した。

現在、ニュープラネットが営んでいるのは、全国うまいもの交流サロン「なみへい」とその夫婦店「フネ」の2店舗。「なみへい」では、月替わりで

市町村に限定した地域食材を使った料理を提供している。2016年1月は福岡県北九州市と山口県下関市の関門地域を取り上げ、特産品のトラフグやカキ、アンコウなどの魚介類、はなつこりやあかもくという珍しい野菜や海藻がコース料理で楽しめる。2月は静岡県焼津市と沖縄県、3月は鹿児島県出水郡長島町の食材を使った料理を提供する。

「フネ」は、なみへいの実績が評価されて、2014年5月に

夫婦店として、東京都千代田区神田のちよだプラットフォームスクエア内にオープンした。これは「ちよだフードバレーネットワーク」の拠点となっており、自治体や関係団体が食をはじめとする地域の資源を生かした情報発信や交流活動を展開している。その実店舗としてフネが選ばれた。一階はカフェレストランとして産地直送の料理などを提供している。

客席数は、なみへいの約3倍程度と広く、客数も多い。なみへいとフネという性格の異なる2店舗が揃ったことで、それぞれの特徴を生かした食の地域連携の提案も可能となった。

地方のニーズに寄り添った展開を

今後は他の団体とのコラボレーションで新規事業を計画中だ。現地のブロガーと連携して、地方の情報や食材生産者の紹介

をするなど、やりたい事はたくさんある。

「地方の皆さんは食材の販路開拓だけを目指しているわけではない。ニーズは多様で、例えば東京の人の味覚にあったイノシシ肉の味付けを知りたいから、味見役のお客さんを紹介して欲しいと相談されたこともある。実店舗をもっていることで、そうした地方の困りごとに対応できる。今後はこうした細かなサポートでも故郷を盛り上げたい」と意欲を燃やす。

食を通して地域と人をつなげる故郷おこしの取り組みが、今宵も東京・神田の全国うまいもの交流サロンで続いている。

Company Profile

ニュープラネット合同会社
東京都中央区日本橋本石町4-2-6 神田GMビル1F
資本金 1540万円
従業員 4名
◆店舗なみへい
東京都中央区日本橋本石町4-2-6 神田GMビル1F
03-6666-5963 namihei5963.com
◆店舗フネ
東京都千代田区 神田錦町3丁目21
ちよだプラットフォームスクエア1F
03-5259-8051 fune5963.com